



ニードルパンチ刺しゅうミシン

絵物語 *embellisher*

ご使用のてびき

□ 安全にご使用いただくために	1
1 各部の名称と付属品	2
2 縫うための準備	3
3 縫ってみましょう	4
4 糸飾り	5
5 リボン飾り	8
6 メンテナンス	9
針の交換／ランプの交換／清掃／注油	
トラブル対処法／仕様	

お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき正しくお使いください。
- 保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

安全にご使用いただくために

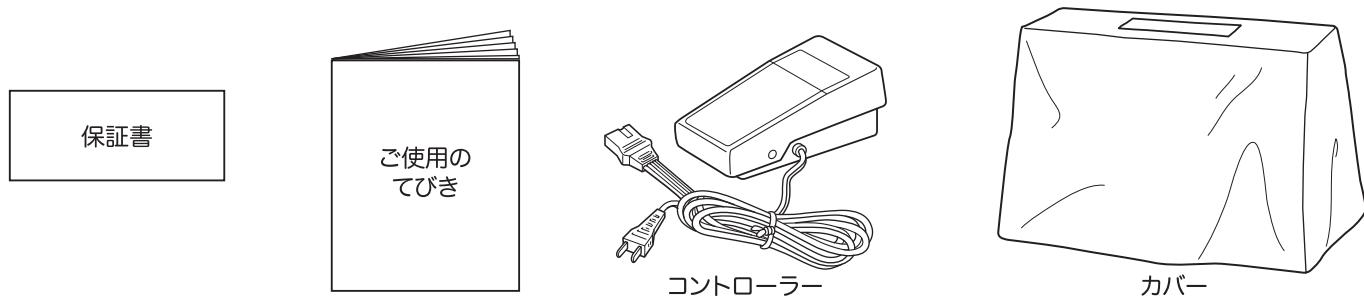
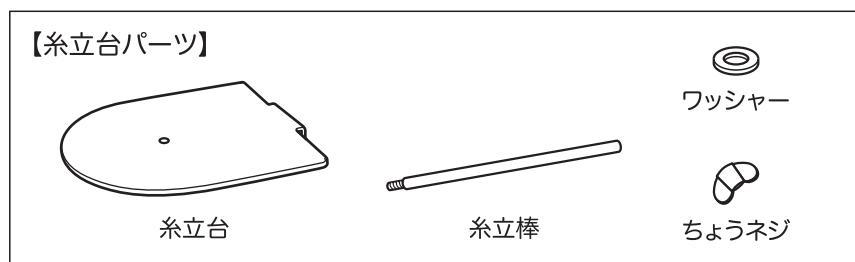
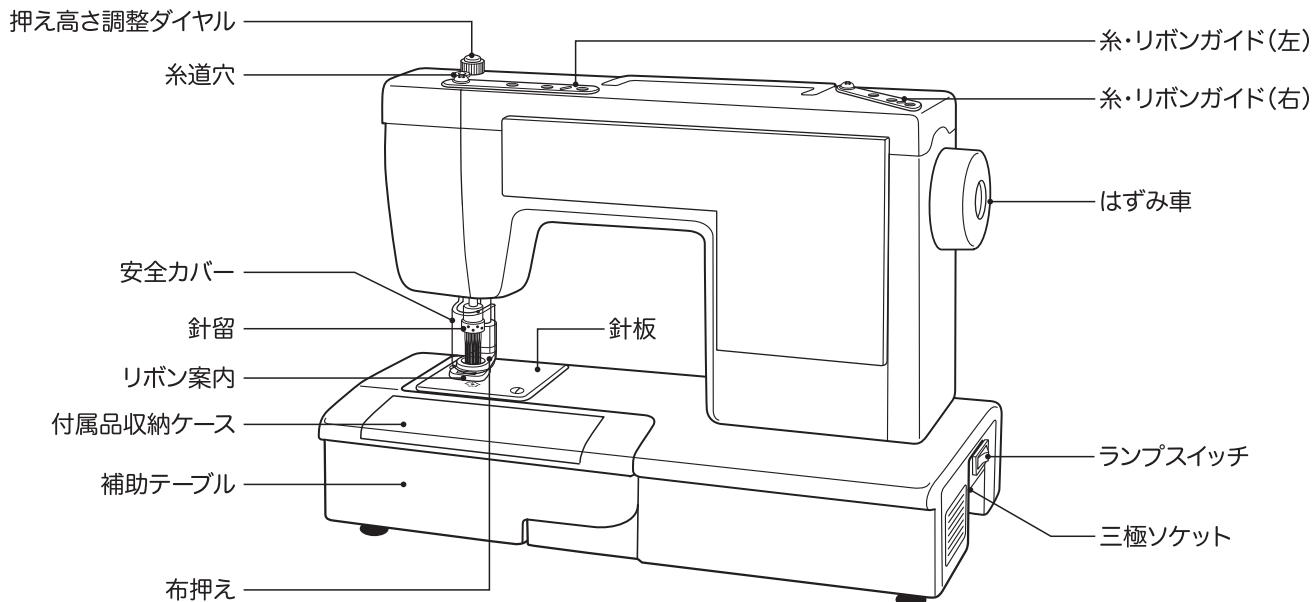
ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。
このミシンは、日本国内向け・家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY

▲ 警 告 → 感電、火災の恐れがあります。

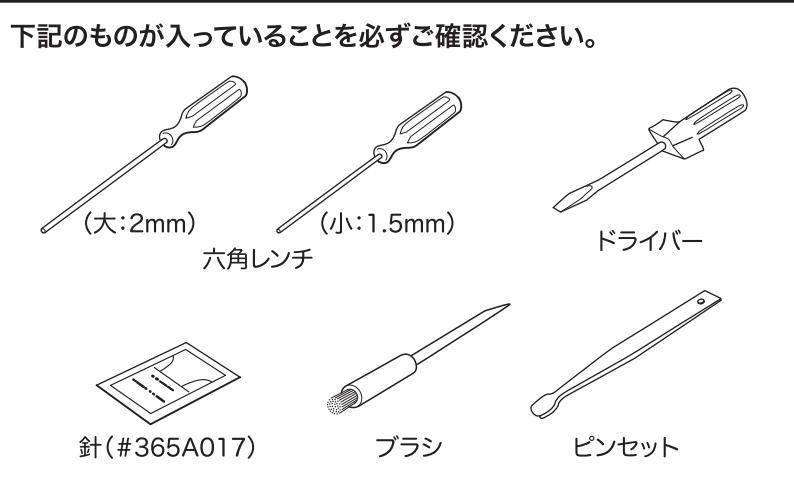
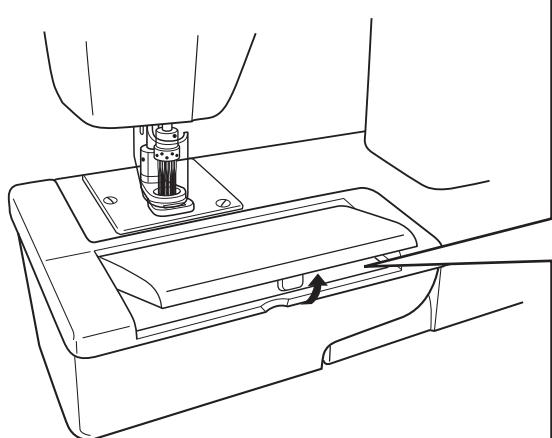
- ◆一般家庭用の100V電源をご使用ください。
- ◆使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。

▲ 注 意 → 感電、火災、ケガの原因となります。

- ◆このミシンは繊維製品、半製品および類似の素材にニードルパンチするためのものです。それ以外の用途には使用しないでください。
- ◆コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。
- ◆ミシンの操作および保守作業は十分に習熟した人が行うようにしてください。
- ◆ミシンの操作に適した服装でご使用ください。長い髪やネックレス、ブレスレット、リボン等はミシンに巻き込まれた場合重大な事故になります。
- ◆以下の場所でのご使用および保管はなさらないでください。
 - ・強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
 - ・湿気の多い押し入れ等の中
 - ・スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所
 - ・高い場所
 - ・お子様の手の届く場所
- ※ミシンの使用温度は0°C~40°Cです。
- ◆ミシンは半年に一回程度、理想的には3ヶ月に一回は動かして下さい。長期間使用しなかったために不具合が生じた場合は、販売店でのメンテナンスをお勧めします。
- ◆ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかかるないようにしてください。
- ◆以下のときは、必ず電源を切ってください。
 - ・針を交換するとき
 - ・ランプの交換をするとき
 - ※ランプの交換は、熱が冷めてから行ってください。
- ◆ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はしないでください。
- ◆電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- ◆電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- ◆ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
- ◆ミシン内部にドライバーや異物を入れないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
- ◆以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
 - ・電源コードまたは電源プラグが破損、劣化したとき
 - ・落下などにより破損したとき
 - ・ミシンが濡れたとき
 - ・異常な臭いや音がするとき
 - ・正常に作動しないとき
- ◆操作中は針から目を離さないようにし、すべての動いている部品に手を近づけないでください。
- ◆ミシンには正規の部品をご使用ください。また曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
- ◆縫製中に布を無理に引っ張ったり押したりしないでください。
- ◆ミシンを移動するときは、把手を持って行ってください。
- ◆操作時は、ミシン本体のカバー類(ランプカバー等)はすべて閉じてください。

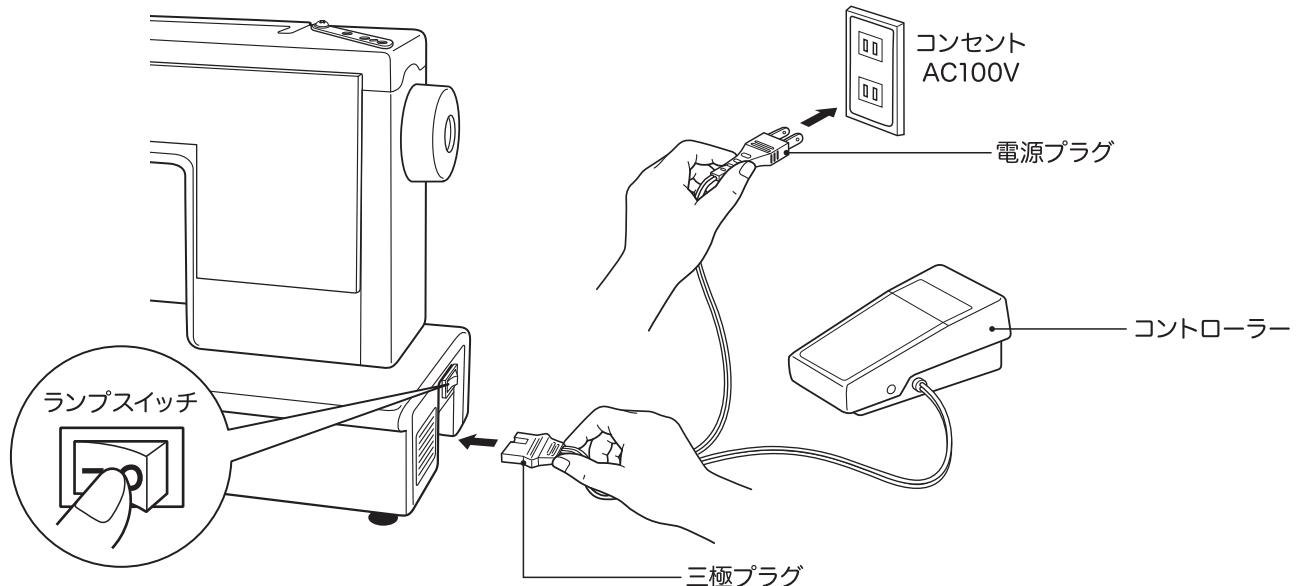


【付属品収納ケース】

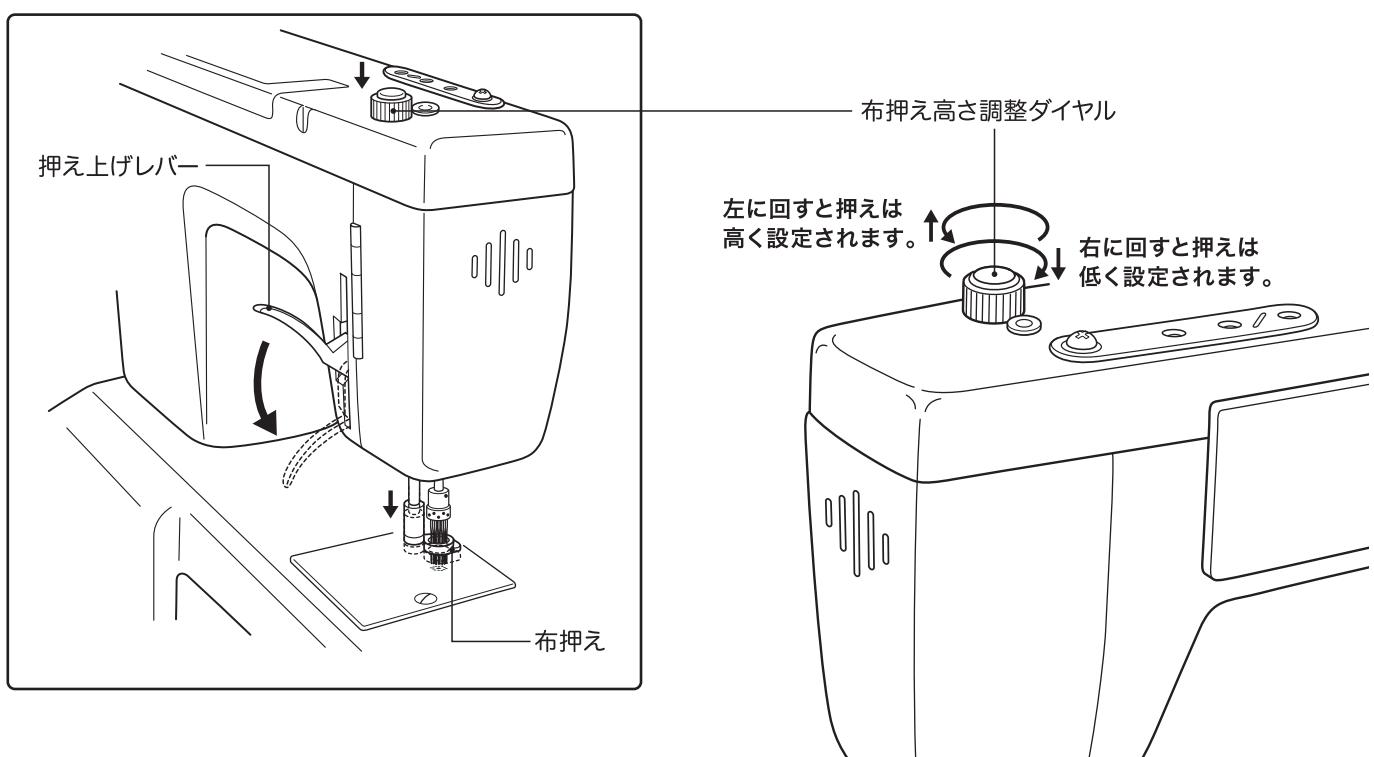


コントローラーの電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。三極プラグをミシン本体のソケットに差し込んでください。これで電源が入ったことになります。
ランプスイッチをO側にするとランプが点灯します。

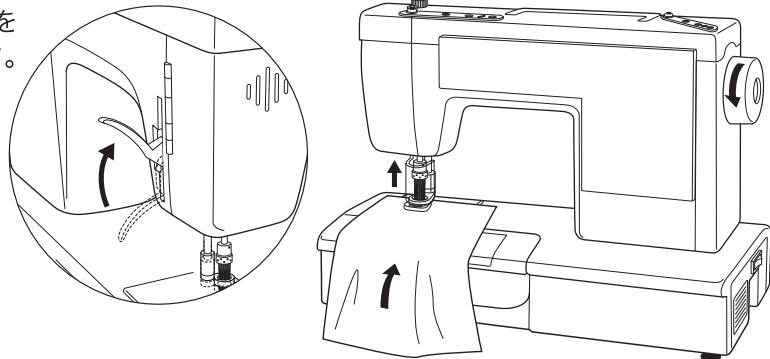
注意:ミシンを使用しないときやミシンから離れるとき、針・ランプの交換時は電源プラグをコンセントから抜いてください。



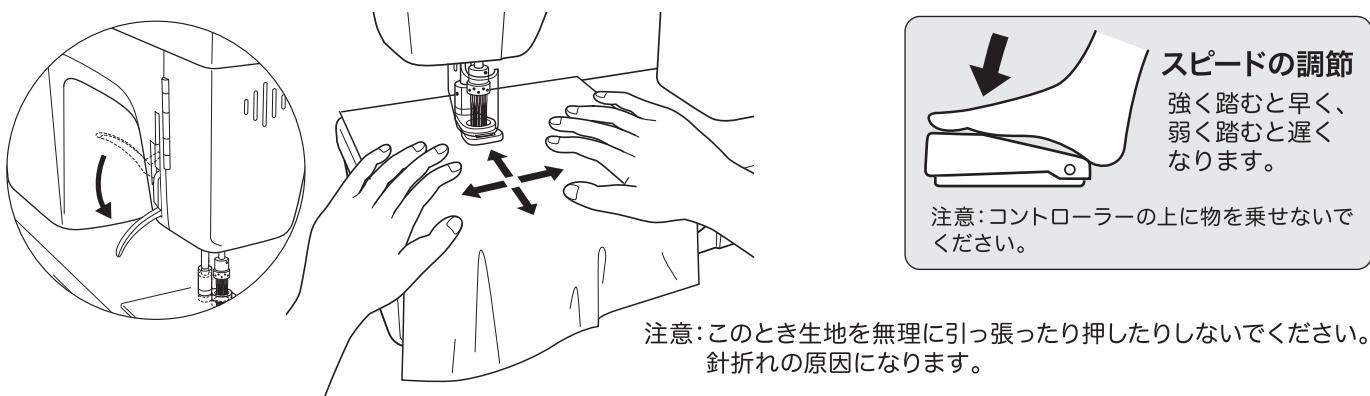
抑え上げレバーを使って布押えの上げ下げをします。布押えは針の抜き差しで生じる生地のバタつきを抑えます。
生地の厚さによって布押えの高さを布押え高さ調整ダイヤルで調整します。
基本的には生地の合計の厚さギリギリに合わせますが、好みに合わせて調整ください。



1)針と布押えを上げ、生地を針落ちまで差し込みます。



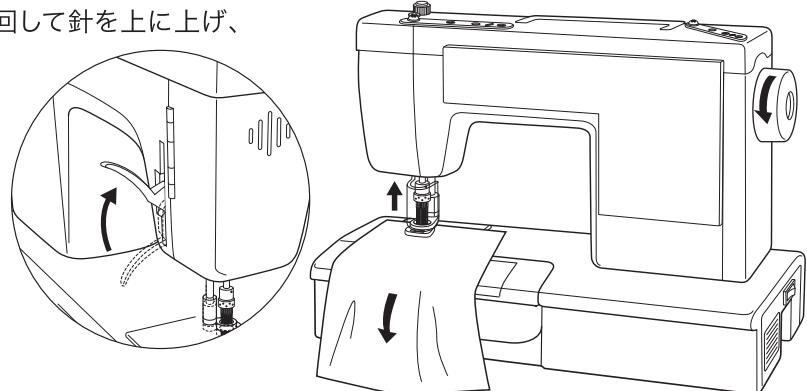
2)布押えを下げ、コントローラーのペダルをゆっくりと踏み込みます。生地を前後左右自由な方向に移動させて縫います。



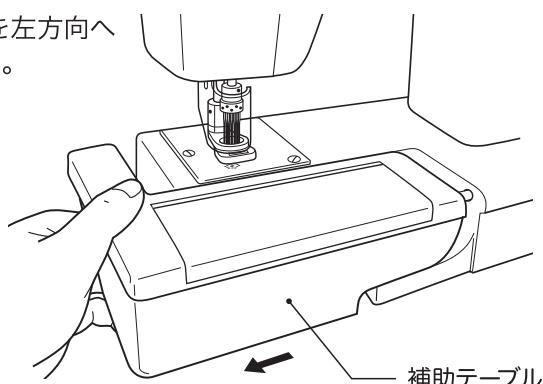
3)縫い終わって生地を抜くときは、はずみ車を回して針を上に上げ、さらに布押えを上げてから行ってください。

注意:生地に針が刺さったまま生地を外そうとすると、針折れの原因となります。

※また、再び縫い始めるときは必ず布押えを下げてください。布押えを下げないで縫うと生地がバタついて針折れの原因になることがあります。



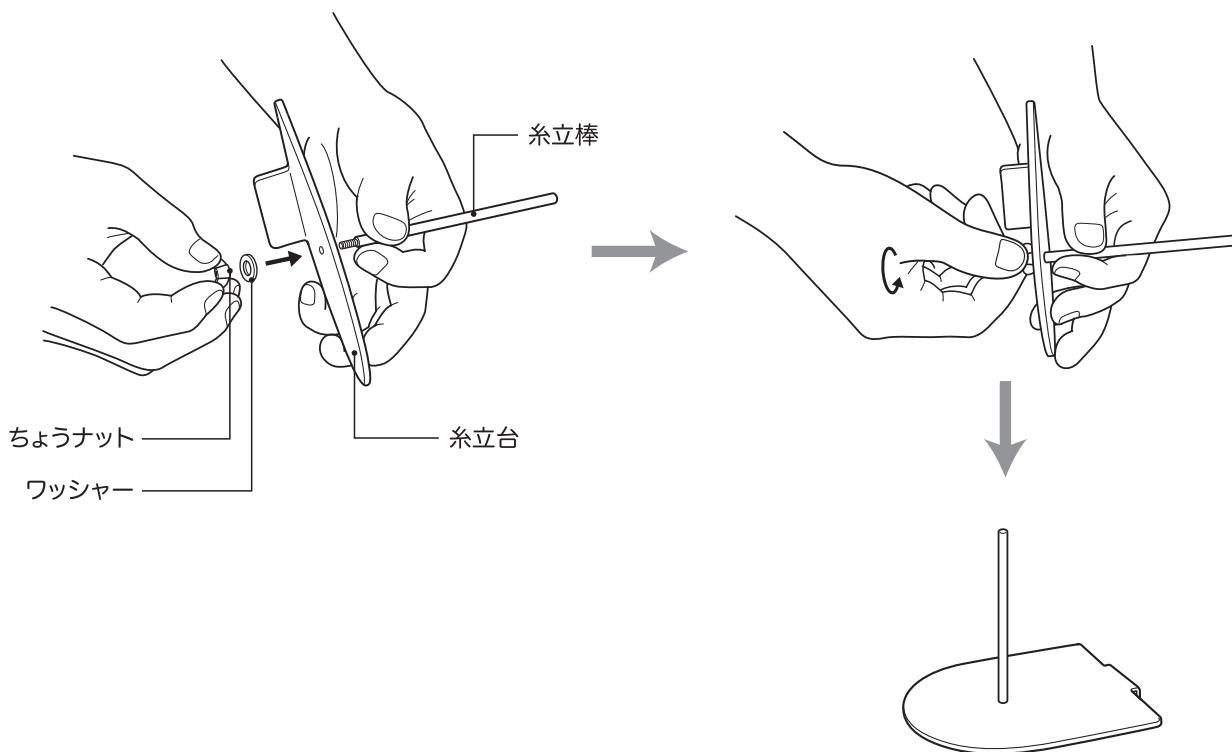
筒もの縫いのときや掃除のときは、補助テーブルを左方向へ取り外してフリーアームとしてお使いいただけます。



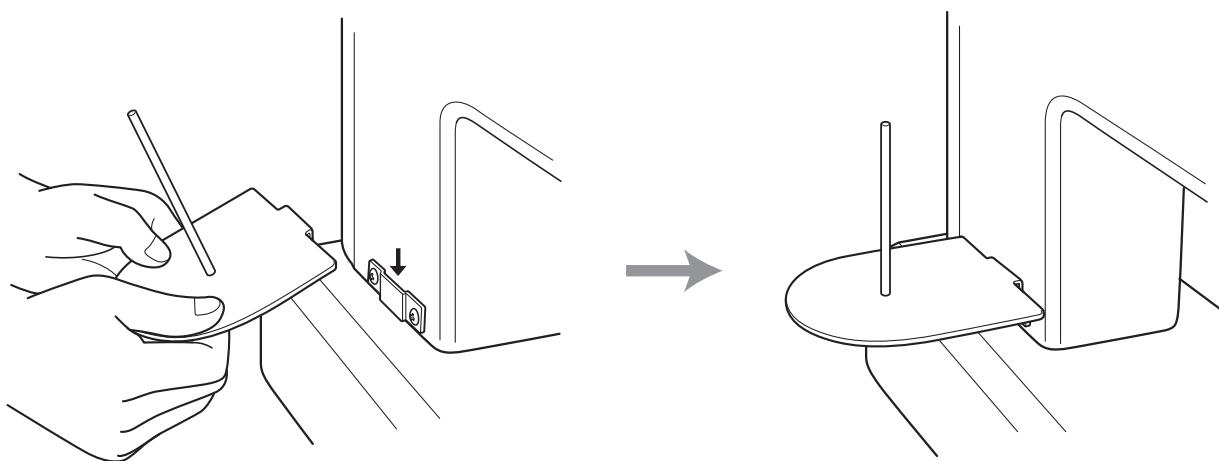
毛糸や飾り糸等を使う場合は付属の糸立台を使用すると便利です。

■糸立台の組み立て

- 1)糸立台に糸立棒のネジ部分を差し込み、付属のワッシャーを入れ、ちょうナットで固定します。

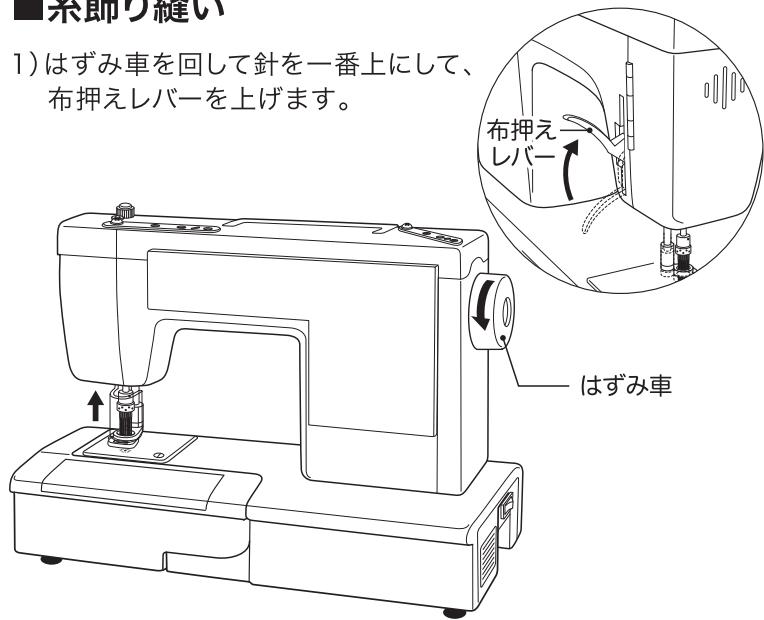


- 2)ミシン本体裏側に糸立台を下図のように差し込みます。

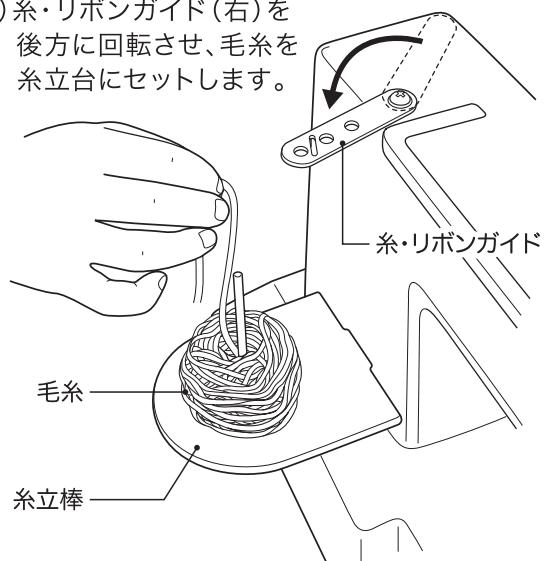


■糸飾り縫い

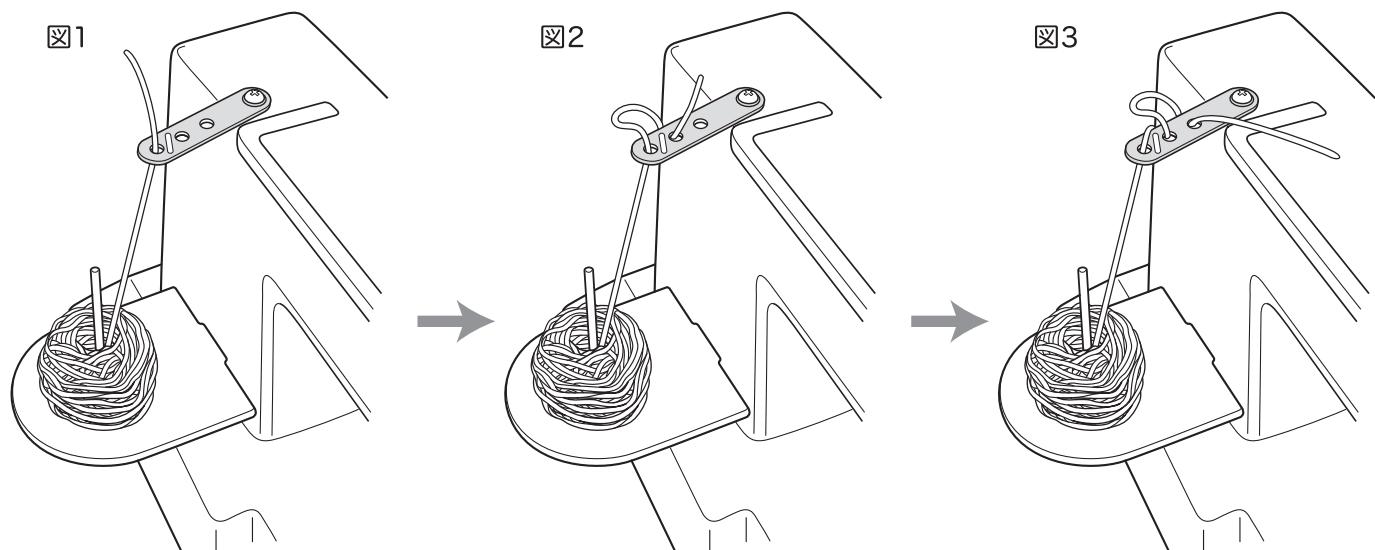
- 1)はずみ車を回して針を一番上にして、布押えレバーを上げます。



- 2)糸・リボンガイド(右)を後方に回転させ、毛糸を糸立台にセットします。



- 3)下図のように糸・リボンガイドの糸穴に毛糸を通します。

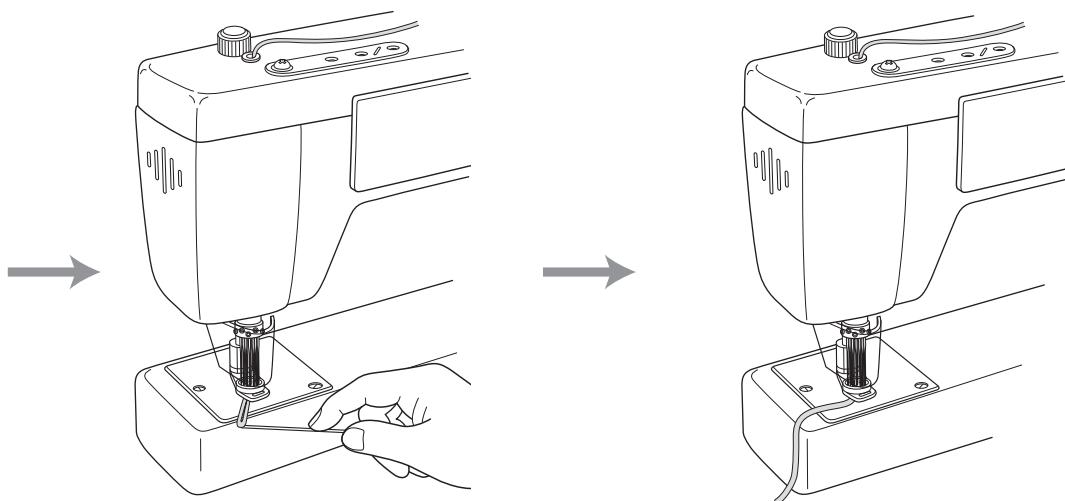
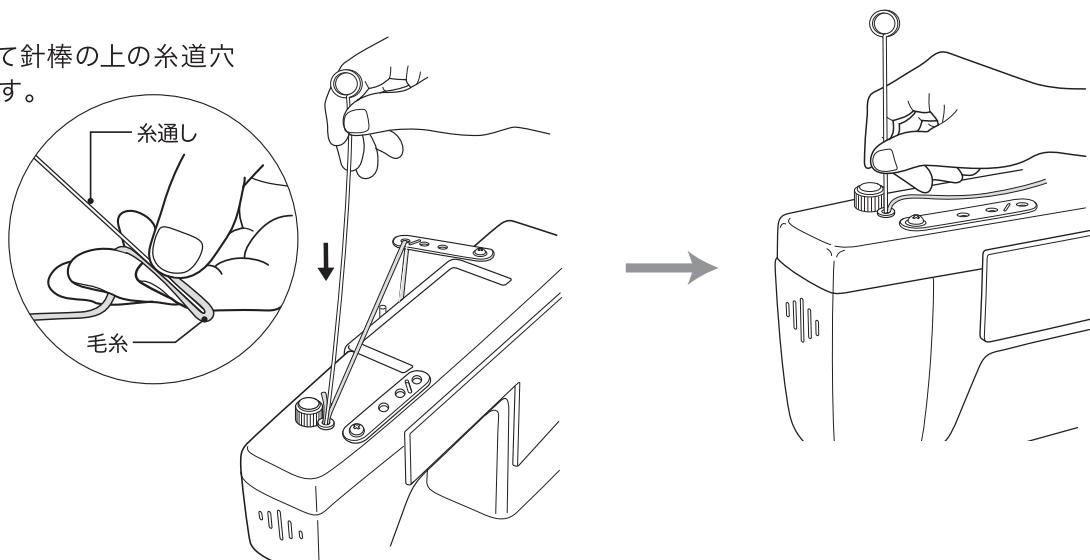


ワンポイント

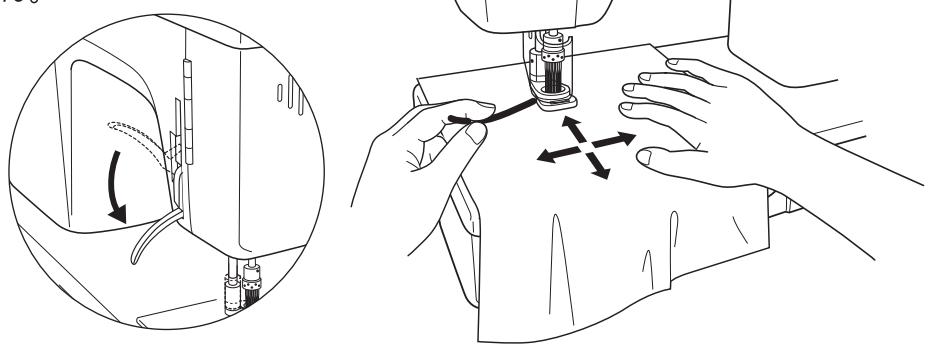
毛糸の引きが強い場合は、糸通しガイドの一番外側の穴にのみ毛糸をかけてください。(上記 図1)
それでも糸の引きが強い場合は、毛糸の太さが太すぎていないか確かめてください。(P7参照)

糸飾り

4) 糸通しを使用して針棒の上の糸道穴から糸を通します。



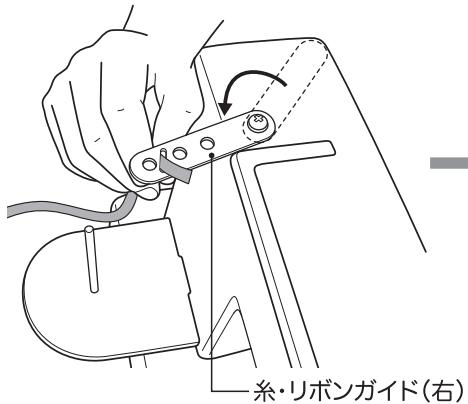
布押えレバーを下げてから縫い始めます。毛糸の場合は生地を前後左右に動かしてもかまいません。



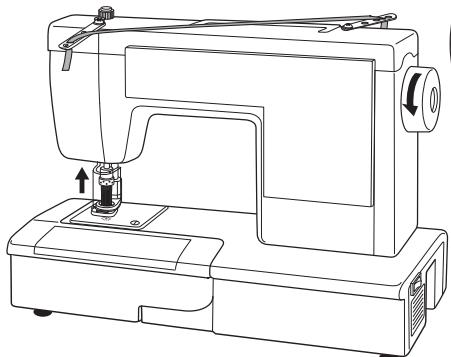
注意:毛糸には沢山の種類があるので、毛足の長いものや太い糸を使用する場合は注意が必要です。作品に縫い付ける前に試し縫いをしてください。はずみ車を回して針に抵抗がかからないか確かめてください。太さ4mmを超えない毛糸がおすすめです。毛糸はミシン上部の糸道穴の入り口にすんなり入っていくものをご使用ください。

5 リボン飾り

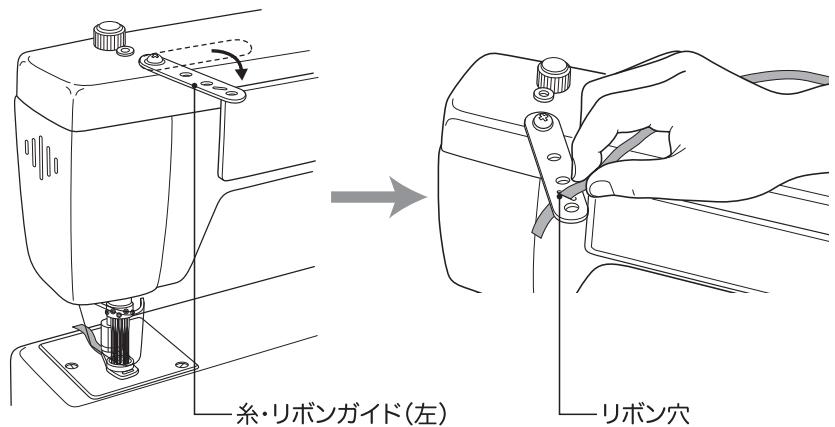
1) 糸・リボンガイド(右)を後方に回転させて、糸立台の方向にセットし、リボン穴にリボンを通します。



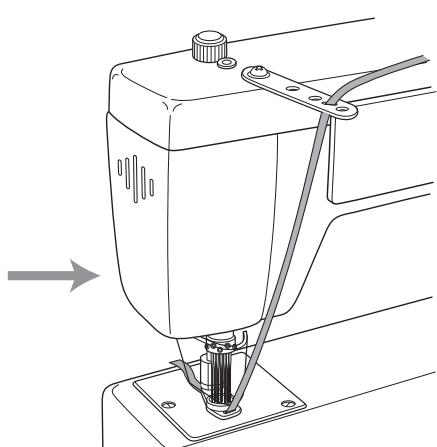
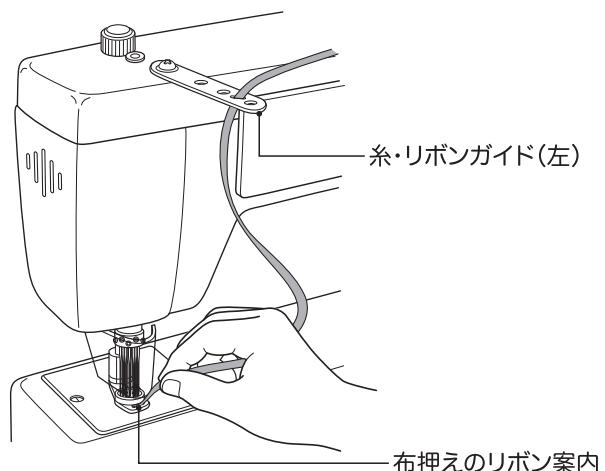
3) はずみ車を回して針を一番上にして、布押えレバーを上げます。



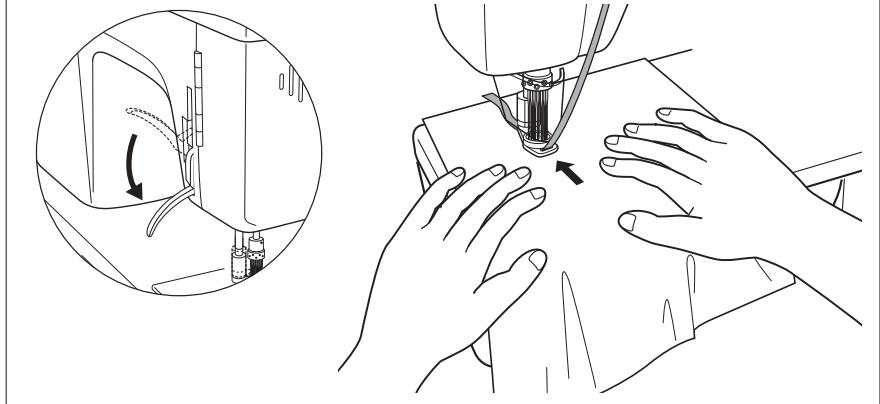
2) 糸・リボンガイド(左)をミシンの前方に回して、リボン穴にリボンを通します。



4) 布押えのリボン案内にリボンを通します。



布押えレバーを下げてから縫い始めます。リボンがからまないように、生地はミシンの後方にのみ動かしてください。



注意: 布押えのリボン案内は10mmなので、幅10mm以上のリボンはおすすめしません。リボンの幅が10mm以下の場合、針はリボンの外側をたたきます。リボンには沢山の種類があるので、厚めのリボンを使用する場合は注意が必要です。作品に縫い付ける前に試し縫いをしてください。はずみ車を回して針に抵抗がかからないか確かめてください。

6 メンテナンス

■針の交換

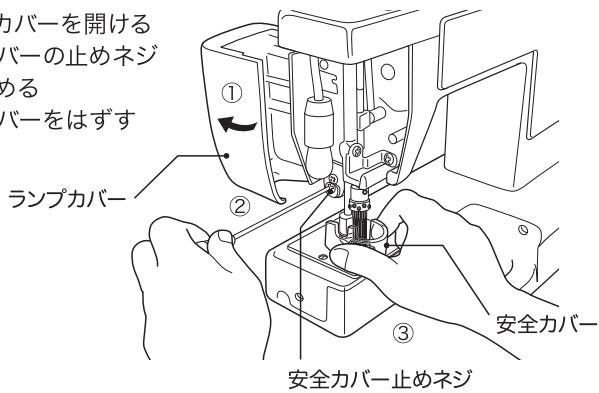
針は必ず #365A017 の針をご使用ください。それ以外の針は使えません。

※#365A017の針は特殊な針ですので一般には販売されていません。本ミシンをご購入いただいたミシン店でお買い求めください。

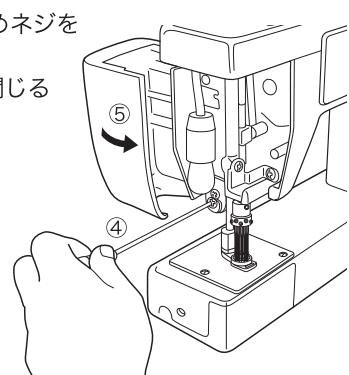
注意:針の交換は必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

1)針を交換する場合、まず安全カバーを取り外します。

- ①ランプカバーを開ける
- ②安全カバーの止めネジをゆるめる
- ③安全カバーをはずす



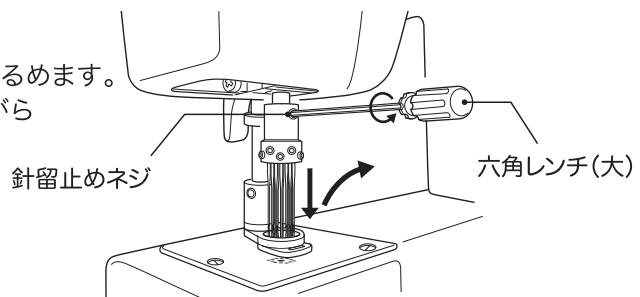
- ④安全カバーの止めネジをしめる
- ⑤ランプカバーを閉じる



2)はずみ車を回して針を一番上に上げます。

3)針留の止めネジを、付属の六角レンチ(大:2mm)を使ってゆるめます。

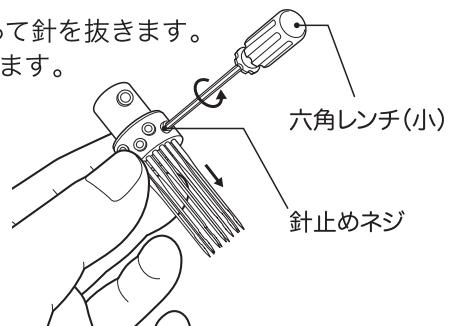
4)針留を持って、布押えに針がぶつからないように注意しながら
いったん下に下げてから斜めに抜きます。



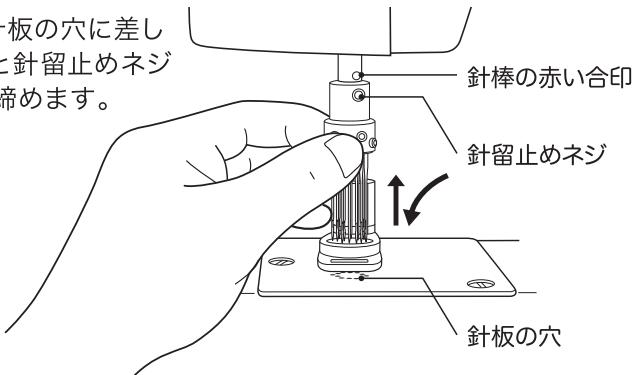
5)針留にある針止めネジを六角レンチ(小:1.5mm)で緩め、ピンセットを使って針を抜きます。

新しい針を針穴の奥に当たるまでしっかり差し込んでから針止めネジを締めます。

針の取り付け方向は自由です。



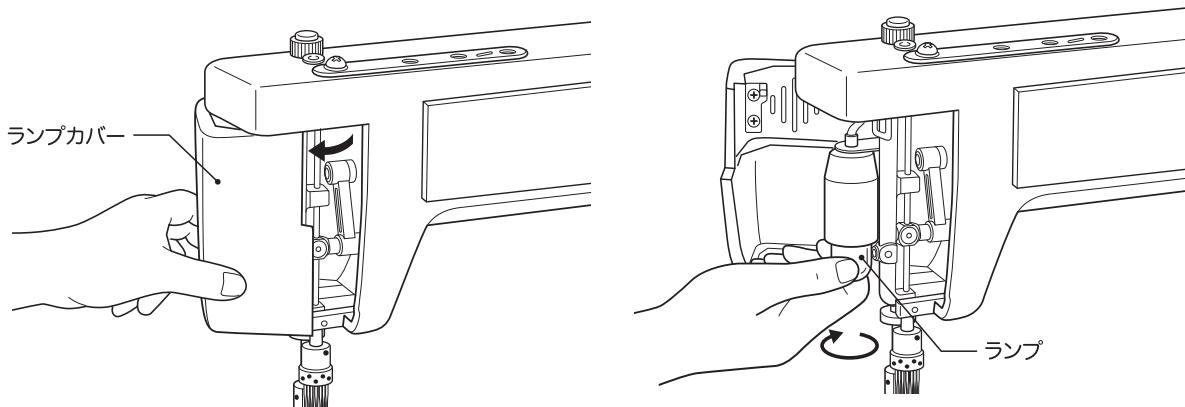
6)布押えに針が当たらないように気をつけながら、いったん針板の穴に差し込むようにして下げ、そのまま真上に上げ針棒の赤い合印と針留止めネジが合うように差し込み、針留止めネジを六角レンチ(大)で締めます。



メンテナンス

■ランプの交換

- ※ランプ(100V 15W)は最寄りの販売店にてお買い求めください。
- 1) ランプカバーを開けます。
 - 2) ランプを左方向(時計回り)に回して外し、新しいランプに交換します。

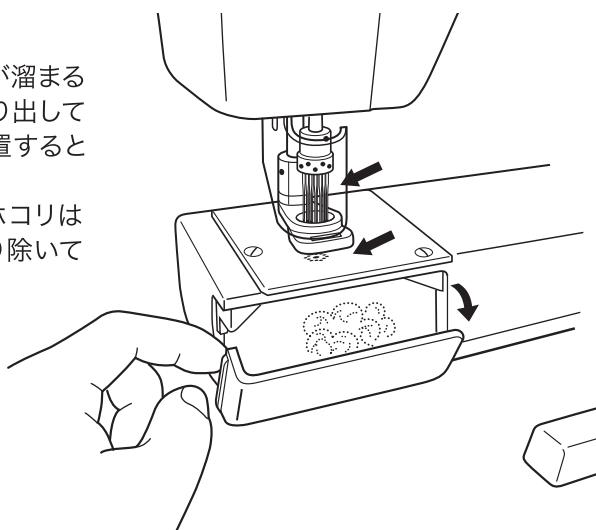


注意:必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。また、ランプが冷めていることを確認してから行ってください。

■清掃

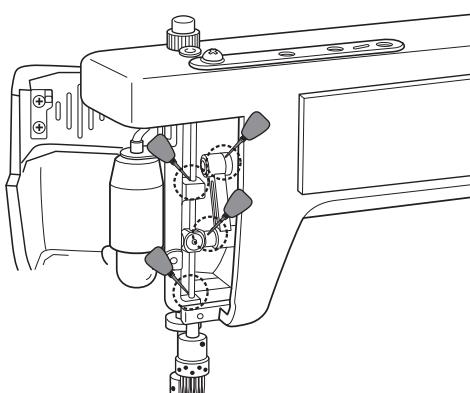
補助テーブルを外すと、針板下部にホコリが溜まるようになっています。定期的にホコリを取り出してください。長期間ホコリが溜まつたまま放置すると針折れの原因になります。

また、針先、布押え、針板の穴に溜まったホコリは定期的に付属のブラシや掃除機などで取り除いてください。



■注油

必要に応じてミシン油を下記の箇所に1~2滴注油してください。



メンテナンス

■トラブル対処法

症状	原因	処置
針が曲がる、折れる	針と素材(生地)の動きが合っていない	素材(生地)をゆっくり動かす
	針が布押えか針板に当たっている	布押えまたは針板の位置を調整する
	針板の下に繊維が溜まっている	ホコリを取り除く

針曲がり、針折れ以外のトラブルについては、販売店にお問い合わせください。

■仕様

- 使 用 針: #365A017
- 針 数: 12本
- 針留仕様: 丸形(針間隔2.5mm)
- 送り方式: 手動
- 消費電力: 70W 60/50Hz
- 照明ライト: 100V 15W
- ミシンの大きさ: 横410×奥行170×高さ320mm
- ミシンの重さ: 5.6kg

製品ユーザー登録はこちらから

www.babylock.co.jp/user

ベビーロックをもっと活用していただくための
コンテンツや特典をご提供しています。



最新情報や作品づくりのアイディアはホームページとSNSをチェック!

facebook.com/babylockjapan [@babylock_sewing](https://www.instagram.com/babylock_sewing/)

④ 株式会社ベビーロック www.babylock.co.jp

本社: 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL03(3265)2851(代表)

支店: 東京 03(5825)9020 名古屋 052(917)3671 大阪 06(6967)3300 福岡 0942(44)7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ

お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年 月 日
販売店名	
	TEL

修理やアフターサービス等でミシンを送付する必要が起る場合があります。そのため、梱包箱は捨てないで保管されることをお薦めします。